

11月4日（日） 時間割

9:30 ~ 鳥にまつわる法律のハナシ	千田万里子 保全研究室
10:00 ~ ハヤブサはワルぶったインコなのか	山崎剛史 自然誌研究室長
10:30 ~ 拾われた珍鳥はどうする？ — 標本材料収集の現場から —	小林さやか 自然誌研究室
11:00 ~ カシラダカが絶滅する？	尾崎清明 副所長
11:30 ~ 鳥の標本（ひょうほん）ってどんなもの？ — 剥製標本（はくせいひょうほん）の作り方 —	岩見恭子 自然誌研究室
12:00 ~ 鳥にまつわる法律のハナシ	千田万里子 保全研究室
12:30 ~ （昼休み）	
13:00 ~ ハヤブサはワルぶったインコなのか	山崎剛史 自然誌研究室長
13:30 ~ 拾われた珍鳥はどうする？ — 標本材料収集の現場から —	小林さやか 自然誌研究室
14:00 ~ カシラダカが絶滅する？	尾崎清明 副所長
14:30 ~ 鳥の標本（ひょうほん）ってどんなもの？ — 剥製標本（はくせいひょうほん）の作り方 —	岩見恭子 自然誌研究室

講演内容

鳥にまつわる法律のハナシ	日本の野鳥は法律で守られていて、勝手に捕まえたり飼ったりできません。では、調査のために鳥を捕まえる場合は？弱った鳥を保護する時は？ 巣の中の卵やヒナは触ってもいいの？ 鳥に関わる人に知っておいて欲しい法律について解説します。	一般向け
ハヤブサはワルぶった インコなのか	鳥類学者は古くから鳥たちの類縁関係について考えてきました。最近、DNAの配列を読み取る技術が目覚しく進歩しましたが、このブレイクスルーのおかげで、鳥たちの類縁関係について、意外な事実が次々と明らかになってきています。ハヤブサはタカではなく、インコやスズメに近い—そんな面白いトピックスを紹介します。	一般向け
拾われた珍鳥はどうする？ — 標本材料収集の現場から —	博物館などで標本を収集していると、日本で記録の少ない野鳥、いわゆる「珍鳥」を扱うことがあります。山階鳥類研究所の標本材料収集の担当者が、これまで収集された珍鳥や、収集後の取り組みについて紹介します。	やや専門的
カシラダカが絶滅する？	ホオジロの仲間のシマアオジは、日本での繁殖は数個体しかなく絶滅寸前です。また同じ仲間のカシラダカも日本だけでなく、世界的に急減していることが判りました。小鳥たちに何が起きているのでしょうか？ その原因は？最新の調査結果と保全の必要性を学びましょう。	一般向け
鳥の標本（ひょうほん） ってどんなもの？ — 剥製標本（はくせいひょうほん）の作り方 —	長い年月保存される剥製標本はどうやってつくられているのでしょうか？ 鳥の標本にはいろいろあります。研究に使われる剥製標本はどんなものなのでしょうか？ 作り方をぬいぐるみを使って簡単に説明します。	お子さんに おすすめ